

## < 表示範囲の調整方法(数値入力)>

[補助ツール]メニュー[ジオメトリツール]を使用して、スペクトルデータの表示範囲を数値入力で 調整できます。

① [補助ツール]メニュー[ジオメトリツール]の[表示範囲の調整]を選択する。

⇒[表示範囲の調整] ウィンドウが開きます。

▲ 表示範囲の調整 - O - X <sup>解析ツール</sup> 補助ツール データ操作 操作対象 対象データを選択して下さ B 現在の範囲 📑 計算機 特定のデータを基準とした拡大/縮小 パラメータフィルタ 5 ジオメトリッール Þ. ◎表示の関連付け 倍率 X 1 **V** 1 🚜 分子構造式エディタ 表示範囲の調整 | 両端 | 中心幅| Start 0 Points サンプリング スケジューラ リファレンスのコピー ÷ Points Stop 0 📴 印刷レイアウトの調整 ピックツール | 両端 | 中心幅 | 周期律表 Points Start 0 ŧ サービス マネージャ Points Stop 0

[補助ツール] - [ジオメトリツール]項目

[表示範囲の調整]ウインドウ

- ② [表示範囲の調整] ウインドウにある操作対象を選択する [Finger] ボタンを押す。 ⇒カーソルの形が [指マーク]アイコンに変わります。
- ③ 💟 [指マーク]アイコン で表示範囲を変えたいスペクトルデータをクリックする。

⇒クリックしたスペクトルの現在のX軸、Y軸データが表示されます。

Ø データスレート:cs_cahe_1h-7.jdf	CONTRACTOR OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER OWNE OWNER OWNER OWNE OWNER OWNE		: • ×		
ファイル オプション レポート 投影 スライス 展開 データ処理 データ表示 解析ツール 補助ツール データ操作					
	0 04	🔗 表示範囲の調整			
操作対象 対象データを選択して下さい	2 Click	操作対象 cs_cahe_1h-7.jdf	<b>3</b>		
現在の範囲		現在の範囲			
特定のデータを基準とした拡大/縮小		特定のデータを基準とした拡大/縮小			
基準データ 基準データが選択されていません 😿	3 Click	基準データ 基準データが選択されていま	ith 😿		
倍率 X 1 Y 1	En Cal	倍率 X 1 Y 1			
「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」		1H	両端 中心幅		
X Start 0 Points		X Start 12.50876[ppm]	PPM 🔶		
Stop 0 Points		Stop -2.50404[ppm]	PPM 🝦		
画端 中心幅	1	信号強度	両端 中心幅		
Y Start 0 Points		Y Start -0.0107[abn]	Points		
Stop 0		Stop 9.25354[abn]	Points		
12.0 11.0 10.0 9.0 8.0 1 X : parts per Million : 1H	۲.0 6.0 5.0	4.0 3.0 2.0 1.0 0 -1.0	-2.0		

JEOL RESONANCE

知っている。	<mark>೬、 ಕ</mark> ್ಕಾಂ	と幸せに	なれる
De	ta	Ti	0S



## ④ 任意の値をX軸、Y軸に入力する。

## ここでは、X軸 Start 3 ppm, Stop 1.5 ppm, Y軸 Start 0 abn, Stop 2 abn を入力する。

⇒スペクトルの表示範囲が入力された値で調整されます。

★Y軸のStart-Stopには、NMRスペクトル縦軸スケールの数値を入力します。



左図<sup>1</sup>HスペクトルをX軸1.5~3 ppm、Y軸 0~2 abnで拡大表示

★ Delta Tips データスレート編(4)のコネクト機能と一緒に使用することで、複数のスペクトルデータを 任意の値の周波数領域で瞬時に比較表示させることができます。(⇒NMDT\_0040)



左図<sup>13</sup>CとDEPTスペクトルをX軸10~45 ppmで同時に拡大表示